

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いろは		公表日		2026年 4月 30日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		100%	0%
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		100%	0%			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		100%	0%	1階を静の空間、2階を動の空間として環境をわけ、個別スペースを設けることで児童の特性や活動内容に応じた支援を行っている。	バリアフリー化に関しては必要な児童が出た場合に検討する。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		100%	0%	掃除や整理、整頓を行い、子どもたちが安心安全に過ごせる清潔な環境の維持を努めている。	片付けが十分に行き届いていないところもあるため、定期的に清掃を行う。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%	0%	ゆっくりしたい児童や集中して勉強に取り組みたい児童に個別デスクや個別スペースが提供できるよう確保している。	個別スペースの使い方の提示、環境の整備を都度行う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		100%	0%	スタッフ全員参加できるよう午後から会議をおこなう場合もある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%	0%	スタッフ間で会議をおこない改善をおこなっている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%	0%	ミーティングをおこない全員が把握し改善をおこなっている。	ミーティング内容を決めてから会議をおこなうことで時間の短縮につなげる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		17%	83%	現在、おこなっていない。	今後、必要であれば実施方法を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		100%	0%	事業所内研修の実施や支援する上で必要な外部の研修など定期的受講している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		100%	0%	情報共有をおこない、作成をおこなっている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		100%	0%	ケース会議を定期的実施している。	担当児童制にしていることで属人性が出ている為、担当児童問わず支援内容の把握に努める。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		100%	0%		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		100%	0%		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	担当者だけでなく、全スタッフで意見を出し合い考察している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	様々な体験や活動内容の発展ができるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%	活動のプログラムにおいては事前にスタッフ間で共有を行っている。	長期休暇や繁忙期においても、引き継ぎできる時間を確保し、情報共有ができるような仕組みづくりに努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	当日、または翌日に引き継ぎ、共有をしている。	LINEWORKSに記録しスタッフ間で周知する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	デイロポにて日々の様子等記録している。また、LINEWORKSにて個別のフォルダを作成し、情報整理もできるよう記録をとっている。	日々支援方法の見直し、検討をおこない支援の質の向上に努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的に支援会議を実施し、スタッフ間で共有、検討、見直しをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	日々の関わりのなかで、選択する場面を設けている。視覚的ツールや選択制にするなど、本人の理解に合わせて行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17%	83%	モニタリングでは発達支援センターと情報共有を行っている。	今後、ニーズがあれば関係機関との会議開催を検討する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66%	34%	近隣の機関と定期的に実施している。	今後、ニーズがあれば関係機関との情報共有を検討する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	メールや送迎時などで児童の引き継ぎ、下校時間など情報共有をおこなっている。	下校時間の確認がとれない場合の対応方法の検討を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	34%	66%	近隣の機関との情報共有は行っている。	今後、ニーズがあれば連携をおこなう検討する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	34%	66%	現在、対象児童がいない。	現在、卒業生がいない為対象児童が出た場合には検討する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12%	66%	発達支援センターと情報共有はおこなっている。	・今後、必要に応じて助言や研修などを受ける。 ・スタッフの支援の質や視点を広く持てるように地域との連携の検討。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	34%	66%	月2回ほど地域の他の子どもと活動する機会は設定している。	今後、ニーズがあれば、地域の子どもたちと交流できるイベントの立案を検討する。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	17%	83%	現在、参加していない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	お迎えや送迎の際、情報共有をおこなっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	34%	66%	現在おこなっていない。	家族支援に対する研修内容について、スタッフが認知する必要がある。また、保護者のニーズを把握し、実施の検討をおこなう。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	共感的な支援に努めることで家族等からの相談に適切に対応ができています。	事業所で家族支援の研修の実施や外部研修の参加から対応スキルの向上を図る。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	34%	66%	今年度は実施していない。	今後、保護者のニーズを把握し、実施方法を検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月に1回HPの掲載、月に3回Instagramの更新をし、行事予定や様子など共有している。	活動概要や行事予定等わかりやすく発信できるよう改善・検討をおこなう。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	現在、おこなっていない。	地域住民との交流をおこなう際のリスクを把握し、地域に開かれた運営体制をととのえていく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に避難訓練をおこなっている。	児童が興味・関心もてるような活動内容の工夫に努める。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66%	34%	契約の際にアレルギーについて確認をおこなっている。	食物アレルギーがある場合は、引き続き診断書、検査結果を提示いただき対応をおこなう。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・LINEを通してスタッフで共有をおこなっている。 ・安全衛生委員会での会議で再発防止について話し合っている。	ハード面についてスマートな対応に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に研修をおこなっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	50%	50%	現在、対象児童がいない。		